

学校教育目標	「未来を創造する人を育てます」				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、未来を切り拓く力(知識・経験)を育みます。【知】 ・互いに高め合う態度を育みます。【徳】 ・未来を生き抜くたくましい心身を育みます。【体】 ・協働を通して地域や社会に貢献しようとする態度を育みます。【公】 ・グローバルな視野を持った未来社会の担い手を育みます。【開】 				
学校概要	創立 42 周年	学校長 村上 直幸	副校長 山下 淳	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 416 人	主な関係校: 瀬谷第二小学校、瀬谷さくら小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	下瀬谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 持続可能な社会の創造に貢献する力	下瀬谷中学校 瀬谷第二小学校 瀬谷さくら小学校	主体的に地域とともに学ぶ子ども ・小中合同授業研究会の実施。国語・数学(算数)・英語・児童生徒指導・特別活動・道徳の合同分科会の実施。 ・基礎学習会の実施(小学校教諭による中一生指導) ・中学校教師による出前授業の実施。 ・小中合同地域防災訓練の実施。 ・児童の授業参観・部活動体験の実施。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」を工夫し、基礎・基本の定着と自ら進んで学習する態度を育てます。 ・一人ひとりの違いを認め合い、善悪を判断して行動する態度を育てます。 ・未来を生き抜くたくましい心身の育成と、規則正しく健康で安全な生活をする態度を育てます。 ・公共のものを大切に、ボランティアや生活の場をきれいにする態度を育てます。 ・自分が生きていく社会を幅広く学び、進んで貢献する態度を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①授業のユニバーサルデザイン化を図り、「全員参加、分かる授業」を実践する。②校内授業研修や小中一貫ブロック授業研修を通し、授業力向上を図る。③学習状況調査の結果分析を授業改善に生かす。④新学習指導要領に対応した授業提案を行う。⑤TT授業を実践し、基礎学力の定着を図る。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①生徒会活動や行事などを通して、ESDロジックと結びついている「基本方針」に基づき生徒を育成する。②引き続き道徳授業のユニバーサル化を意識して、全校で取り組む。
担当	学習指導部	
体	健やかな体	①家庭科や保健体育を含むいろいろな教科で、食教育や健康の大切さを生徒に教える。②たくましい心身を育成するために、体育祭や保健体育以外でも体力向上を図る。③規則正しい生活態度を育てるために、授業や外部講師による講演などいろいろな方法を使って生徒に生活習慣について学習させる。
担当	保健安全指導部	
公開	ESD	①担当職員を中心として学校全体にESDの理念を浸透させる。②3年間を見通した(発達段階に応じた)ESD教育を展開できるように、総合学習の計画・立案を練る。③引き続き、身近なところから取り組めるように、学年・学級でESDロジックを作成する。
担当	教育課程委員会・ESD担当	
いじめへの対応		①生徒一人ひとりに寄り添い、受容的・相談的生徒理解と指導・支援を実践する。②生徒一人ひとりに自己有用感を持たせる取り組みを実施する。③教師自ら研鑽を重ね、いのちの大切さや尊さを教えていく。④組織として情報を共有し、積極的ないじめの認知と解消に全職員で取り組んでいく。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		引き続き「学び続ける職員集団」に向け、取組を継続する。ミドルリーダーを中心とした研修会を設定し、参加する多くの職員の学びに繋がるようにする。経験年数が近いグループを構成し、悩みや課題、学校運営への参画度などが近いことを生かし、同僚性を高める。グループ間の補完性も大切にしたい。
担当	人材育成担当	
児童生徒指導		①生徒に寄り添った指導の充実を図り、相談活動を充実させるとともに、特別支援教育を含め、組織的な支援を行っていく。②誰もが安心して過ごせる学校生活を目指し、グローバルな視点を持ち、多様性を認め合う姿勢を養っていく。③保護者との連携を深め、情報の共有化を図る。また、地域と協働する中で、地域に貢献する姿勢を身につける。
担当	生徒支援部	
特別活動		①生徒一人ひとりが達成感を持てるような自治的な活動の幅を広げていけるようにする。②生徒会活動や学級活動での運営を、生徒自らが行う体験的な場面として充実をさせていく。③生徒自らに、「自分たちで自分たちの学校を良くしていこう」という意識を持たせる。④全ての活動を通して、基本精神や学校教育目標を意識できるように努める。
担当	特活指導部	
特別支援教育		①特別支援教育委員会の研修内容の充実を図る。②個別の支援が必要な生徒に個別の指導計画を作成する。③特別支援教室の支援の充実を図るための体制をつくり、担当を決め、全職員で対応する。④関係機関と連絡を密に取りながら、丁寧な支援に努める。⑤校内ハートフルの活用を進めていく。
担当	特別支援教育委員会	
地域連携		①職員・生徒が地域行事に積極的に参加し、地域連携を深める。②保護者や地域と連携した「下中生が安心して過ごせる学校づくり(SAS)」を実践する。③学区内の各地域に分かれ、地域清掃を実施する。④小学校・中学校・地域との合同防災訓練を実施する。⑤ホームページや学校だよりなどを通じて、地域への情報発信をしていく。
担当	生徒支援部・生徒指導専任	